

丹沢：水無川 新茅ノ沢

- ◆日程 2016年10月2日(日)
- ◆メンバー L：小林、須田健、佐藤俊
- ◆天候 曇り

新茅ノ沢は別名カラヒゴ沢といい、烏尾山を源頭に水無川に流れる沢で、出合で前回遡行したモミソ沢と十字路を形成しています。今回は大倉バス停から1時間ほど歩き新茅荘のある尾根の登山口にて装備を付けました。前日の雨の影響なのか普通に林道を歩いただけでヒルが足回りに取り付く始末、運良く林業？らしきオジサンから強力なヒル避け剤を頂き、十分に散布して入渓しました。

入渓点は、新茅橋から狭い谷に入り込みます。水流は強く天候も曇っている為、ひんやりした空気の中を進みます。この沢にはフォールナンバーのプレートがついており、プレートのある5~6mの滝では一旦止まり、登はんルートを決めて登り出すようにしました。

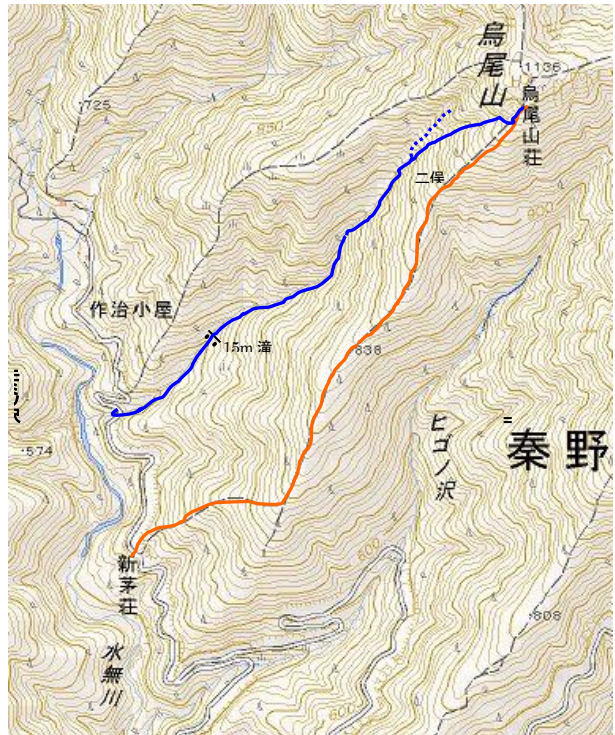
さらに進むと、大きな15m滝が現れました。水流は激しく、登はんルートも水流の中に入り込んでいたようでした。ここは右から高巻きました。(水流が無くても登れる自信は無かったですが・・)、その後も登れる6~7m滝が連続して楽しい限りでした。

後半、二俣を過ぎたあたりから、ガスが濃くなり、先が見通せない程で、ガレ岩が多くなり斜度のある箇所では落石を起こさないように慎重にゆっくり進みました。さらに水流が涸れた辺りから岩が脆くなり、何度かホールドがもげ落ちたりしたので、右手の尾根に移り登山道に出ました。

そして三角屋根の烏尾小屋で遡行を終えました。頂上は快晴で眼下には雲海が広がっており、遠く箱根の山が顔を出していました。絶景です。

CT：大倉 7:50-戸川林道-新茅山荘
9:20-新茅ノ沢出合 9:45~遡行~
烏尾山 12:50 -大倉 15:25

(記：佐藤)



遡行終わって雲海を眺める